

## 幼児教育学科

科目名: 臨床美術の実践Ⅱ			担当教員 氏名: 北澤 晃、岡野 宏宣			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択) 臨床美術士4級
実務経験を用いてどのよ臨床美術士養成講座講師の資格を持ち、臨床美術士として保育園や幼稚園での臨床美術の実践経験を生かし、造 うな授業を行っているか: 形素材の理解やアートプログラムの実践力の向上、福祉施設でのアート活動の実施に向けて授業を行っている。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
臨床美術士として、アートプログラム制作を通して造形的な技術・技法を習得すると共に、 それを用いて主体的にロールプレイングや現場実習などアクティブ・ラーニングすること によって福祉施設などでアート活動を行うための実践力を身に付ける。						・臨床美術 ・右脳の活性化 ・認知症 ・コミュニケーション
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 5. 6. 7. 8.	
A 知識・理解力			右脳の活性化と認知症について理解することができる。			
A 知識・理解力			状況や関係を把握して様々な素材の使用法や表現技法を習得する。			
D 問題解決力			「ひと・こと・もの」に働きかけ、豊かに表現活動の場を設定するために、情報を収集・分 析・整理し、目的に応じた活動案が作成できる。			
F チームワーク・リーダーシップ			リーダー・サブリーダーなどの役割を理解しチームに参画することができる。			
H コミュニケーション力			造形を通して具体的に他者を理解しコミュニケーションをすることを通して、他者に共感 でき、相手の立場に立って考える事ができる姿勢を身につける。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 0 %		レポート: 30 %		発表: 30 %		実技試験: 30 %
その他: 10 %						
特記事項: ・事前課題作品は100%の提出とする。欠席した場合、授業内で制作した作品及び講義内容に関する課題を課す。 ・成績評価のレポートは事前課題の提出。発表は授業内での発言。実技試験はロールプレイング、現場実習の理解と実践力。その他は積極性を 指す。 ・本科目ではアクティブ・ラーニングの一環として学生が自ら課題意識を持ち、対象者に対して臨床美術セッションを行い、実践力を身に付け、事前 の準備を含めた企画、実施、記録を行います。 毎回の準備物: 脳いきいきボックス、新聞紙(朝刊1日分)、スティック糊、割り箸ペン、クロッキー帳、ウェットティッシュ、鉛筆2Bか4B						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
使用テキスト:『臨床美術士養成講座4級』, 芸術造形研究所 『臨床美術 認知症医療と芸術のコラボレーション』, 芸術造形研究所				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ※本科目は「臨床美術」「臨床美術の実践Ⅰ」の単位取得者のみ受講できます。 本科目は日程が不規則になっています。授業日時をよく確認してください。 ※本科目は事前課題が多い科目です。課題の提出日を常に確認してください。提出日直前に事前学習では対応できませんので、毎回 計画的に進めるようにしてください。(事前・事後学習課題の欄には提出日のみ記載してあります) 諸事情により実習の予定を変更せざるを得ない場合があります。						
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)
						学習内容
						学習に必要な 時間(分)
回数						
1	①【岡野】指導案演習「フリー実習振り返り」			10月16日		【予習】: フリー実習(報告書) 様々な技法を試す・様々な紙を試す
2	②【岡野】臨床美術コミュニケーションⅡ「現場セッションにつ いて」「子どもの現場セッション」			10月16日		
3	③【北澤】アートプログラム実践演習「実習にむけて試作」			12月4日		準備物: 指定されたモチーフ
4	④【北澤】臨床美術コミュニケーションⅡ「鑑賞会」			12月4日		
5	⑤【岡野】アートプログラム実践演習「ロールプレイング」①			12月11日		【予習】: 課題図書レポート 準備物: 指定されたモチーフ
						【予習】240分

※前ページよりつづき 幼児教育学科

科目名: 臨床美術の実践Ⅱ			担当教員 氏名: 北澤 晃、岡野 宏宣	
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)	
			学習内容	学習に必要な時間(分)
6	⑥【岡野】アートプログラム実践演習「ロールプレイング」②	12月11日		
7	⑦【北澤・岡野】実習予習指導・実習準備	12月25日		
8	⑧【北澤・岡野】現場実習	1月15日	【復習】:実習現場記録表	【復習】60分
9	⑨【北澤・岡野】現場実習	1月15日		
10	⑩【北澤・岡野】現場実習	1月15日		
11	⑪【北澤・岡野】アートプログラム実践演習「実習の振り返り」	1月22日		
12	⑫【北澤】指導案演習「五感のアナログ画ロールプレイング①」	1月29日	【予習】:ゴーギャンの模写	180分
13	⑬【北澤】指導案演習「五感のアナログ画ロールプレイング②」	1月29日		
14	⑭【岡野】臨床美術基幹Ⅱ-②「臨床美術プロデュース」	2月5日		
15	⑮【北澤・岡野】「総括」「認定後の活動」	2月5日	臨床美術協会認定申請書 (課題をすべて提出してある学生) 準備物:臨床美術ハンドブック	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				